



(功績概要)「高校教員として、環境ボランティアや環境 ISO 内部監査員養成等を通じた「地球にやさしいエンジニア」の育成に取り組むとともに、環境リーダー育成のための環境教育プログラムを作成。国内の環境教育会議や国際会議等に参加し、活動報告・研究報告をしている。また、静岡県環境カウンセラー協会理事長として自治体との連携を図り、地球温暖化対策や自然環境保全に取り組んでいる。」

(自己紹介) 飯尾美行 高校・講師

1953年生まれ。1980年静岡大学大学院工学研究科修了。1980年静岡県立浜松工業高等学校定時制勤務。1988年静岡県立浜松城北工業高等学校勤務。1991年環境教育活動に取り組む。1995年同校環境部創設・顧問。現在に至る。静岡県環境カウンセラー協会理事長(ESD 担当)。静岡県地球温暖化防止活動推進センター(アースライフネットワーク理事)。環境省環境カウンセラー。静岡県環境学習コーディネーター。浜松市環境教育推進ネットワーク運営委員。浜松こども館・浜松市立青少年の家運営協議会委員。日本環境教育学会会員。北米環境教育学会・世界閉鎖性海域環境保全会議・世界環境教育会議等で発表。

① これまでの取り組み

私が勤務する静岡県立浜松城北工業高校で、1991年より環境教育活動に取り組む。1995年に実践的な環境教育活動のリーダー育成を目指す「環境クラブ」(現在の「環境部」)を全国に先駆け創設。顧問として27年間、学校における環境教育の推進役を生徒たちに求める中で、多様な環境教育活動を通して、生徒自らが成長しリーダーとして行動する姿を通して、現在までクラスの友人をはじめ家族や地域の人々にも環境教育活動の「共感の輪」を拡げてきています。

② 取組内容(1991年～2023年)

「地球にやさしいエンジニア」の育成を目標に取り組む環境教育活動は、①自然や環境に配慮した“ものづくり”と②地域の自然を守る“環境ボランティア活動”を中心に、主な8つの活動があります。

1.「地域の自然を守る環境ボランティア活動」(クリーン作戦や里山づくりを中心に

年間35時間以上の環境ボランティア活動を「卒業単位」として認定する県下で唯一の工業高校として生徒610名が単位取得)
2.「校内の「城北の森」づくり(潜在自然植生110種・547本)をモデルに地域の森づくりにも挑戦」(市内20ヶ所で実施)
3.「バスによるエコツアー」(森と水をテーマに静岡・山梨・長野等7県で全37回実施、聞き取り調査・環境教育新聞づくり(NIE:Newspaper In Education)に挑戦)
4.「環境先進国をモデルにリサイクル活動」(デンマークをモデルに「城北工高リサイクルステーション」を設置、専門業者と協力し「ゴミゼロの学校モデル」に取り組む。本校をモデルに「市民のための24時間型リサイクルステーション」が市内各所に設置)



デンマークをモデルにした「城北工高リサイクルステーション」で活動する生徒たち

5.「城北ジュニア・エコ・クラブ」(本校の環境教育活動のエッセンスをまとめた「体験型環境教育プログラム」を提供する中で、地域の子供たち延べ4500名が来校)

6.「市民の命を守る防潮堤での森づくり」

(静岡県と浜松市が津波対策として建設中の防潮堤(高さ13m、長さ17.5km)に、本校

の「城北の森」をモデルに市民と協力して森づくりに取り組む。植樹累計：長さ 3000 m、9000 本、全長 17.5Km の約 17%)

7. 「全国に先駆け国際規格「環境マネジメントシステム(ISO14001)」・内部監査員の養成に挑戦」(部員 3 名からスタートし生徒 1373 名が内部監査員修了証書取得)

8. 「STOP 温暖化若者会議を開催」(浜松市長、環境部長、各校校長を迎えて地域の高校生・大学生が集まり環境活動・環境問題を発表・討議。生徒たちが運営委員のとなり浜松市、浜松市地球温暖化防止推進センターと企画、市内高校 6 校 2 大学で合同開催)

③ 活動事例 (活動のキッカケ)

日本海重油回収のボランティア活動に、本校より環境部・友人生徒含め 74 名が交通費(五千円)を負担して参加。本校の「環境ボランティア活動の原点」となっている。



1997 年ナホトカ号重油回収ボランティア活動をする生徒たち(石川県塩屋海岸にて)

(苦勞した事・改良点)

学校を一つの「小さなコミュニティ」と捉える中で、どのようにしたら工業高校の生徒を対象に自然や環境に配慮できる「地球にやさしいエンジニア」を育成し、また地球的規模の環境問題にも対応できる「世界市民」の育成ができるか苦勞しました。

改良した点は、生徒たちの取り組みや成長する姿を通して、友人生徒、保護者、市民へと「共感の輪」を拡げられるようにクラスや部活動の枠を超えて取り組んだことです。

④ 今後に向けて

「地球にやさしいエンジニア」の育成を目標に取り組む本校の「自然や環境に配慮した“ものづくり”と「地域の大切な自然を守る“環境ボランティア活動”」が、生徒たちの「良き伝統」、「誇り」となれるよう「共感の輪」を拡げ、社会に貢献して参ります。



「世界環境教育会議:WEEC2019 バンコク」
(World Environmental Education Congress)

「共感の輪を広げる」私たちの挑戦！



環境ボランティア活動
単位取得 **610名**



ジュニアエコスクール
来校延べ約**4500名**



「ISO14001(環境マネジメントシステム)内部監査員養成研修」
H28年7月30日(土)・31日(日):Aコース 41名 研修交流センター(アクトシティ浜松)

国際規格・環境マネジメントシステム
「ISO14001」・内部監査員研修
修了・合格生徒 **1373名**

部長・副部長の
3名からスタートし約
450倍以上に！

(2020年度
に完成した
防潮堤に
1万本以上)



「城北の森」をモデルに
20カ所に森づくり



防潮堤(全長17.5Km)の
17%に森づくり